

<別紙2>

今年の参加者

参加チームは、学生チーム25チーム、社会人チーム12チームの計37チーム。  
参加人数は3人1チームで、計111名。

・参加大学、団体（学生）

北海道大学 北方圏生物研究会  
北海道大学 野鳥研究会  
酪農学園大学 野生動物生態研究  
帯広畜産大学 自然探査会  
東北大学 野鳥の会  
弘前大学 野鳥の会  
北里大学 獣医学部・弘前大学農学生命科学部  
北里大学 自然界部  
東京農業大学 野鳥の会  
東京農工大学 野生動物研究会  
東京大学 生物学研究会  
麻布大学 野鳥研究部  
日本大学  
日本獣医生命科学大学 獣医学部獣医保健看護学科  
帝京科学大学  
岐阜大学 Catena-Vita  
信州大学

・参加団体（社会人）

シャープ  
日本野鳥の会 翻訳ボランティアクラブ・アジアクラブ  
日本野鳥の会  
トラストサルン釧路  
ラムサールセンター  
葛西臨海公園・鳥類園  
静岡県職員  
ナベヅル環境保護協会（山口県）

### 参加者の意気込み

・満を持して東北大学もバードソンに参戦です！東北大学野鳥の会の歴史に名を刻めるよう頑張ります。  
宮城が誇る探鳥地を山から海まで駆け巡ります。みんなのアイドル成定が、今日も鳥を呼び嵐を呼ぶのか！？  
(東北大学野鳥の会)

・自分達自然界部は毎週小川原湖や近所のビオトープで探鳥活動を行っています。  
時には竜飛峠や津軽海峡のフェリー、ラムサール湿地の仏沼等でも観察を行い、鳥たちと親しんでいます。  
今年は先輩方の偉大な功績に捕われず、自分たちのペースで鳥たちへの挨拶回りを存分に楽しみたいと思います。  
(北里大学自然界部)

・麻布大学の野鳥研究部では、月1の鳥見をはじめとして鳥に対する知識を増やすため熱心な活動を続けています。  
その成果を確かめるため今回のバードソンに参加しようと決めました。がんばります。  
(麻布大学野鳥研究部)

・過去、学生バードソンから募金をいただいた2団体から構成されたチームです。  
今回は新人2名を連れて道東各地を回り、鳥（種数）と募金を集めたいと考えています。  
今年も社会人部門1位を目指してがんばります！  
(日本野鳥の会・トラストサルン釧路)